

# 太平洋戦争の遠因となった日露戦争(下)

・・・今に残るその大きな影響と国際関係・・・

(第一回講演の続き)

2016年5月12日(木)

広島留学生会館にて

## <今でも取られている日露戦争に起因する税金>

日露戦争は強敵ロシアと軍艦など輸入新鋭武器で戦ったため、その戦費は日清戦争の2億円に比べ10倍の約20億円という膨大なものでした。戦場で戦った兵士のみならず、日本人全体が「一億総動員」されました。

戦争経済は新税の創設、既存税の増税、国債の発行といった形で国民に空前の重荷を負わせました。民間事業であった煙草や塩の製造・販売もこの時、政府に取り上げられ、国家の専売事業となったのです。

明治37年2月に開戦した日露戦争の膨大な戦費調達のため、明治37年度に第一次増税として、非常特別税法という単一の税法により、毛織物消費税及び石油消費税を新設したほか、地租、営業税、所得税、酒税、砂糖消費税、醤油税、登録税、取引所税、狩猟免許税、鉱区税及び各種の輸入税(関税)の大幅な増税が実施されました。

しかし、戦局が進むにつれて戦費がさらに必要とされ、翌38年度には、第二次非常特別税法により、地租や所得税などの税率が再び引き上げられ、通行税や砂金採取地税が新設されたほか、毛織物消費税が織物消費税と なって課税対象が全織物に拡大されています。相続税もこの第二次の増税時に創設されたのですが、非常特別税法の中では規定されず、単行法として、恒久税と規定されています。相続税は課税対象を血眼で探していた税務当局が日露戦争で多数の軍人が戦死\*したことに着目し、その遺産に課税することにしたのです。

\*戦没88,429人(うち戦死戦傷死は55,655人、栄養失調、脚気などによる病死27,192人)

当時、学者、税務当局者などの中には必ずしも相続税の創設に賛成するものばかりとは言えない状況で、明治35年の時点においてはその創設に明確に反対する意見がありました。大蔵省の水町袈裟六参事官が「租税制度其他財政二関スル 調査」の草稿として残している文書の中で、「近親を失って悲しんでいるところに重税を課すのは人情が許さない。また戸主を失った家族を扶養することとなる新戸主が苦慮しているときに財産の一部を没収するのは冷酷だと怨まれることになる。ことに、我が国に金持ちは大変少ないので相続税の収入は思うようには上がらないだろう。」と主張していました。

当初、非常特別税法による増税は「平和克復」の1906年12月31日に廃止される予定でしたが、開戦前から財政難であった政府は1906年3月に廃止規定を削除、恒久税化を図りました。国は増税により予定を遥かに上回る収入を得たのです。

庶民は調味料や、石油ランプの燃料などにまでも課税された為、苦しい生活を強いられました。



これら諸税の負担は今日の我々にまで重くのし掛かっていることを忘れてはなりません。

日本の酒税制度は、明治政府が1875年（明治8年、朝鮮派兵が始まった甲午農民戦争の年）に創設した「酒類税」に始まります。当時の税収は「地租」が全体の約90%を占め、酒税の比率は数パーセントでした。しかし、日露戦争戦費調達のため、酒税を大幅に上げられこれで「酒で日露戦争に勝った」と言われるようにまでなりました。この値上げで酒税は全税収の35%にも及びました。大衆は「苦い酒」を飲まされたのです。

日本の酒税は、お酒の種類によって「1キロリットルあたりいくら」と決められていて、ビールの場合は「1キロリットルあたり22万円」。1リットルあたり220円。500mlの缶ビールなら110円、350mlの缶ビールなら77円のビール税が課せられています。アサヒのスーパードライとかキリンの一番搾りとかの500ml缶を300円位で買って飲むと、そのうちの3分の1を超える110円が税金。そして、これに消費税を加算すると1本あたり140円近くが税金なのです。世界の国々と比較してみると、日本のビール税の高さが突出していることが分かります。世界の国々のビールの1リットルあたりの税金を日本円に換算してみると、日本が220円なのに対して、税金の高いイギリスやスウェーデンでさえも約90円、デンマークは約50円、オーストリア、オランダ、ベルギーなどは約20円、イタリア、フランス、ギリシャ、ポルトガルなどは約15円、ドイツ、アメリカ、スペインなどは約10円です。我が「国」は吸血鬼のようではありませんか。

所得税は25%増税、営業税は2.5倍になり、物価は上がり、賃金は下がり、その上、「忠君愛国」の美名の下に、「戦時公債を買え、献金せよ、賃金を工場預けにせよ」などと強要され、庶民はさんざんな目にあわされました。

私の母の話では、庶民の不満をそらす為、政府・マスコミは子供にまで「ニッポン勝った！ ロシア負けた！」と謳わせ、「軍神」広瀬中佐、「軍神」橘中佐、乃木大将と「水師營の会見」、東郷平八郎と「日本海海戦」、横川省三・沖楨介二烈士（スパイ）などの忠勇美談の報道や、203高地攻略など「勝った、勝った」の報道攻めを行ったのです。このような状況は、日露戦争時も太平洋戦争時も同じでした。負けている時でさえ「全滅」は「玉砕」、「退却」は「転進」などと美化されました。これは今も同じです。マスコミは「アベノミックスは成功した！」と平気で報道しています。国連は「日本の報道の独立性は(政府の圧力で)重大な脅威に直面している」と警告しています。「国境なき記者団」の報道自由度ランキングは72位、韓国より下でした。

内村鑑三は「万朝報（よろずちょうほう）」で「日露の衝突の真義は、両国の帝国主義者の衝突で、もっとも多く迷惑を感ずる者は、平和を追求してやまざる両国の良民である」、「**平和は人類の勇気である。戦争をもって勇気と見なすは人を禽獣(鳥やけだもの)と見ての上である。人類を侮辱する者にして主権論者のごときはあるまい**」と真実を述べました。

### <税金以外の庶民の負担>

日本の人口は当時 4,700 万人でしたから人口 1 人当りの戦費は 42 円。「女工哀史」で有名な長野の製糸工場の女工さんの一日の平均賃金は 14 銭（明治 30 年）、年間平均労働日は 300 日以下だったので女工さんが一年働いて貰える賃金は 42 円以下でした。日露戦争では乳幼児から高齢者まですべての日本人が政府から女工さん 1 年分の給料に当る金額を負担させられたのです。5 人家族の一家では女工さんの給料 5 年分もの負担を強いられたのですから大変なことでした。

さらに、国民は政府による国税・国債のほかに、地方段階でもさまざまな負担・損害を余儀なくされました。一例として福井県史は；「明治 37 年（1904）3 月 3 日、福井県では臨時県会が招集された。前年 12 月すでに、可決成立している 37 年度予算を 28.3 パーセントも減額更正して、戦時体制への転換がはかられたのです。増税や公債など膨大な軍費調達を、円滑に行うためには、地方財政の緊縮削減が不可欠でした。県政の最重要案件であった、九頭竜川改修の中止などの土木費の大幅削減、大野郡民の期待する大野中学の設立延期などの教育費の減額も承認されました（『県議会史』二）。」、この戦争で出征兵士の主力となったのは、一家の支柱であるはずの予備役・補充役・後備役の兵士でした。そこで留守家族の生活を救護するため、各地に軍人家族保護団や尚武会・愛国婦人会などの活動が活発に行われまし。しかしその資金源もまた、多くは地域末端の町村民の拠出でしたが、拠出の基準とされたのは、地方税の地価割や戸別割であって、零細な大衆資金が総動員されることとなりました。表 75 の軍費金献納・恤兵費寄付にしても、これらは各地の小学校児童の献金や、今立郡粟田部村の機業工女 381 人の、20 銭ずつ 76 円 20 銭の献金にみられるように、零細な資金の集積にほかならなかったのです（福田幸太郎家文書）。このように日露戦争の巨大な人的・物的な負担は、地方末端のあらゆる国民諸階層の渾身の営みによって支えられていたのです。

項 目	10円以上		1円以上		1円未満		計	
	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員
軍費金献納	15,535	370	2,747	1,214	185	425	18,468	2,009
恤兵費寄付	7,141	145	1,892	747	1,141	5,026	10,174	5,918

注) 「県統計書」による。

日露戦争下の献納・寄付  
(福井県)

さまざまな形の戦費負担は国民の消費購買力を大きく削減し、わが国の国内市場を狭め、海外市場への依存を高め、その後の 50 年に及ぶ侵略戦争拡大への路を拓く決定的原因となったのです。

### 参考資料

国債及び借入金並びに政府保証債務残高(2015 年 12 月末現在、財務省発表)  
国債:10,44 兆 5,904 億円、政府保証債務:42 兆 4,421 億円、合計:1,087 兆 0,325 億円

(私の予言:今のような独占資本本位の財政が続くと近い将来、政府の元利返済は不可能となり、この結果は必ず国民を直撃する超インフレの災禍となります。)

## <外務省の総括>

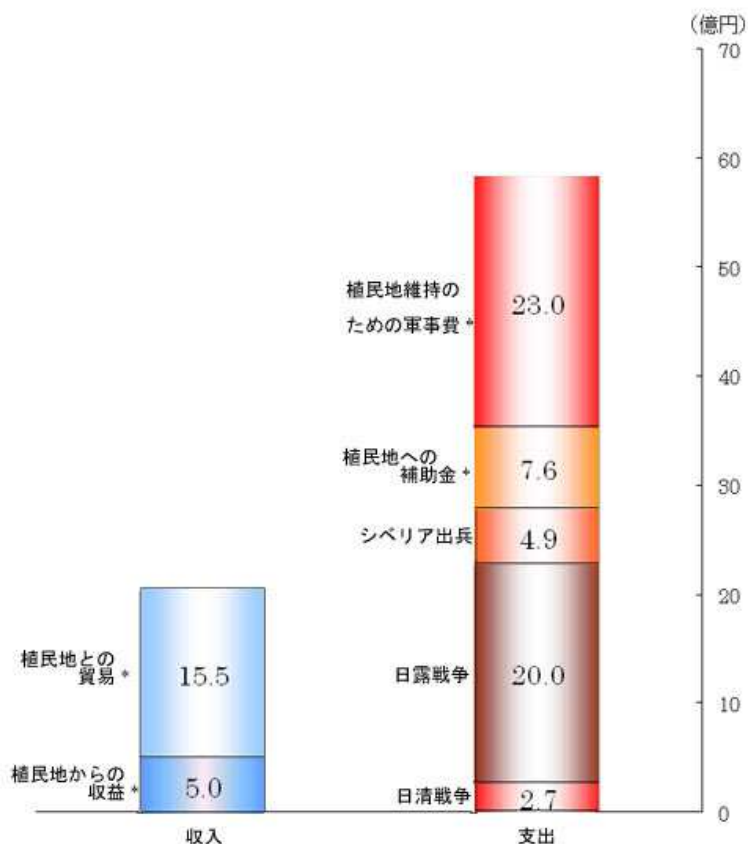
さて、日本外務省は明治以降の戦争についてどのような評価をしていたのでしょうか？

以下は外務省調査部が昭和11年（1936年）にまとめた「日清戦争ヨリ満州事変ニ至ル日本外交ノ経済的得失」と題する研究報告書（未定稿）です。その概要は、日本の対外政策についての分析と批評で、「日清戦争以来の領土的膨張政策の成果」は「経済的見地からは全く御話にならぬ損をしている。」（原文カナ）と断言しているのです。

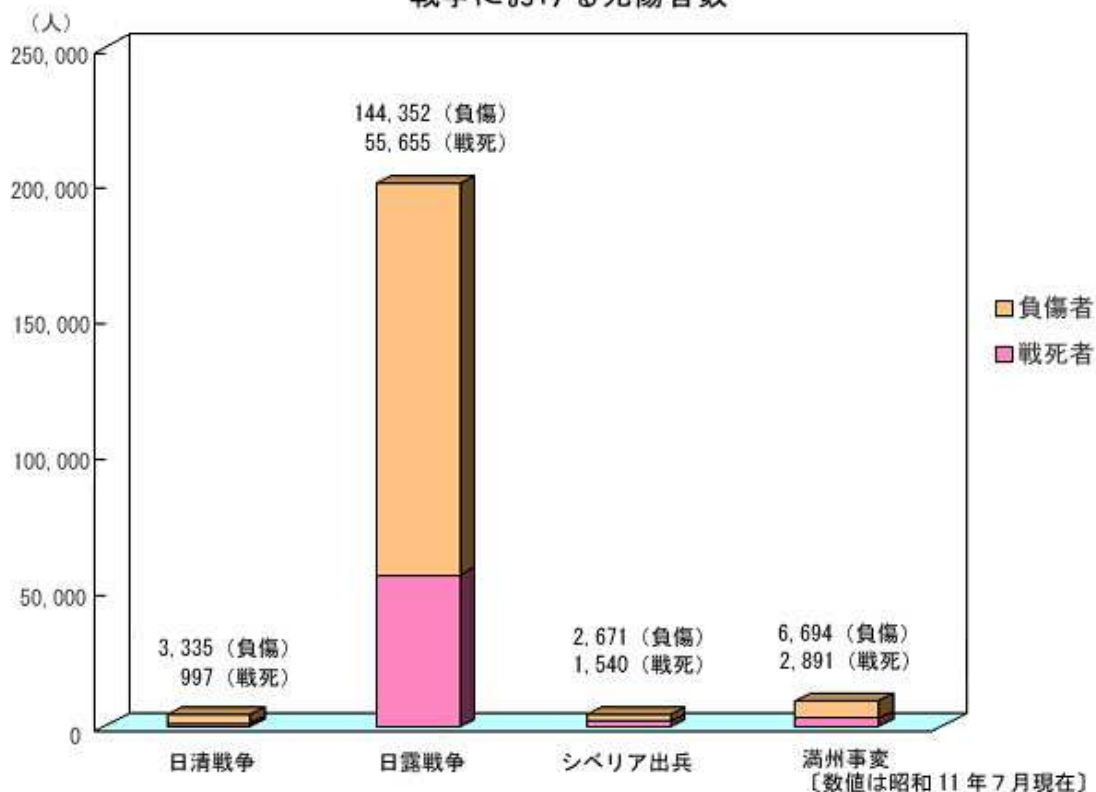
その内容の骨子は次の通りです：

### 《 対外政策における収入支出 》

〔注〕：“\*”は、日清戦争期～昭和9年（1934年）までの通算



### 戦争における死傷者数



報告書は「新領土ガ日本ニ與エタ経済的利益ハ何カ」と切り出し、「五十八億円ノ費用ヲ支出シタ者ハ一般納税者デアリ二十一萬の戦傷死者ヲ出シタノハ忠実ナル我ガ国民デアリ、コノ莫大ナ犠牲ニ依ッテ二十億円ノ利潤ヲ得タノハ植民地貿易及ビ投資ニ関係スル少数ノ商工業者デアッタ。」と明確に指摘しています。しかし、このような研究報告書は時の軍国主義の下国民に知らされることはありませんでした。

日露戦争から 106 年も経った今でも国民に真実を隠す政府のやり方が「秘密保護法」などによって一層根強く残っていることを現代に生きる私達は忘れてはなりません。



←2016/4/5 国会に提出された TPP 交渉に関する政府資料(標題以外は黒塗り)

横浜市中区本牧三之谷「多門院」にある日露戦争戦没者の墓➡

これらの墓は私の住む町、横浜市中区本牧から出征した日露戦争の戦没者を華々しく弔ったものでした。本牧には幾つかのお寺がありますがこの墓があるのは多門院というお寺です。この寺の檀家だけでも数人の戦死者が出ています。この3本の墓標は無縁仏として墓地の片隅にまとめられているものです。

戦死者は「名誉の戦死」などと称えられましたが実態は多数の栄養失調死（飢餓・脚気）を含む悲惨なものでした。脚気に悩んでいた日本海軍の名物、横須賀海軍カレーは同盟関係にあったイギリス海軍の経験を参考にして出来たメニューです。呉の海軍カレーも同様です。



# 遼陽城頭役は更けく この戦場を見よ



遼陽におけるロシア軍の防備——鉄条網と落穴 「絵入ロンドン新聞」1904.10.29所載

惨状！ 遼陽の戦闘中最も激烈をきわめた↑首山堡。原文の表題に曰く「これにまさる反戦論なし」と。「絵入ロンドン新聞」1904.10.29所載。

遼陽の戦における日本軍戦線



日露戦争では第41号水雷艇長として明治37年（1904年）の旅順口閉塞作戦や黄海海戦、翌年の日本海海戦に従軍し、日本海軍の軍人・軍事評論家であった水野廣徳大佐（伯父の妻は秋山好古・真之兄弟の親戚）は「斯くの如く戦争が機械化し、工業化し、経済力化したる現代に於いては、軍需原料の大部分を外国に仰ぐが如き他力本願の国防は、恰も外国の傭兵に依って国を守ると同様、戦争国家としては致命的弱点を有せるものである。極端に評すれば斯くの如き国は独力戦争を為すの資格を欠けるもので、平時に如何に盛んに海陸の軍備を張るとも、畢竟是れ砂上の楼閣にすぎないのである。」「戦争を防ぎ、戦争を避くる途は、各国民の良知と勇断による軍備の撤廃あるのみである」と主張しました。彼は1917年に『東京朝日新聞』に連載の紀行文『バタの臭』で「日米戦争が起これば東京は大空襲にあい経済力の弱い日本は必ず敗北する」と予言しています。



水野海軍大佐↑

2011年1月から「坂の上の雲」第3部が放映されました。冒頭に述べたようにNHKはこの企画意図を『坂の上の雲』は、国民ひとりひとりが少年のような希望を持って国の近代化に取り組みそして存亡をかけて日露戦争を戦った『少年の国・明治』の物語です。…中略…この作品に込められたメッセージは、「日本がこれから向かうべき道を考える上で大きなヒントを与えてくれるに違いありません。」としています。

明治維新が徳川幕府の古い封建制度を倒し、日本の資本主義化、近代化に途を開いたこと、中国や朝鮮などアジア諸国が西欧諸国の植民地、半植民地化された中で日本が独立を守ったことは高く評価出来ます。しかし、この近代化の成果をロシアとの植民地争奪戦に注ぎ込んだのは与謝野晶子や夏目漱石\*などが指摘したように決定的な誤りでした。

\*（三四郎は、日露戦争に勝ったので今はまだ西洋に劣っているが）『然しこれからは日本もだんだん発展するでしょう』と弁護した。すると、かの男（広田先生）は、すましたもので、『滅びるね』と言った。（夏目漱石「三四郎」第1章）

明治維新に際して、日本の国家路線には二つの選択肢がありました。

一つは「脱亜・入欧」、アジアの諸国とは手を切って欧米列強の仲間入りをする路線。この路線の推進者は岩倉具視、伊藤博文、井上毅などでした。他の一つは「自由・民権」、日本に民主主義国家を樹立する路線でした。板垣退助、中江兆民、植木枝盛、大隈重信などがこの路線の推進者でした。

二つの路線の間で激しい闘いがありましたが「明治14年（1881年）の政変」によって大隈重信が政府から追放されるに及んで大勢は「脱亜・入欧」路線となってゆき、その後、自由・民権派は徹底的に弾圧されました。こうして日本は帝国主義への道を歩んだのです。

現代に生きる私達はこの「いつか来た道」を繰り返してはなりません。

## 植木枝盛の東洋大日本国憲按



▲植木枝盛(1857~92)  
高知出身の自由民権運動家。彼が起草したとされる「東洋大日本国憲按」は、主権在民、一院制、抵抗権(71条)、革命権(72条)を規定した、もっとも民主的な私擬憲法である。また、日本は連邦制をとり、行政権は天皇に(89条)、立法権は国民に(114条)あるとしている。

### 東洋大日本国憲按

第五條 日本ノ国家ハ日本各人ノ自由權利ヲ殺滅スル規則ヲ作りテ之ヲ行フヲ得ス

第四十二條 日本ノ人民ハ法律上ニ於テ平等トナス

第四十九條 日本人民ハ思想ノ自由ヲ有ス

第五十條 日本人民ハ如何ナル宗教ヲ信スルモ自由ナリ

第七十一條 政府官吏ヲ為ストキハ日本人民ハ之ヲ排斥スルヲ得、政府威力ヲ以テ擅恣暴逆ヲ逞フスルトキハ日本人民ハ兵器ヲ以テ之ニ抗スルコトヲ得

第七十二條 政府恣ニ國憲ニ背キ擅ニ人民ノ自由權利ヲ殘害シ建國ノ旨趣ヲ妨クルトキハ、日本国民ハ之ヲ覆滅シテ新政府ヲ建設スルコトヲ得

第八十九條 皇帝ハ連邦行政政府ノ長タリ、常ニ連邦行政ノ權ヲ統フ……

第一百十四條 日本連邦ニ關スル立法ノ權ハ日本連邦人民全体ニ屬ス

(牧野伸顯文書)

NHKという国民の視聴料によって賄われている公共放送局がテレビを使って日露戦争を美化するようなことは今まで述べてきたように史実にも反するし、「日本がこれから向かうべき道を考える上で大きなヒントを与えてくれる」ものでもありません。

それは日露戦争後の諸戦争、第二次世界大戦、特に沖縄、広島、長崎などの悲惨な戦禍、対米追随路線で2015年末現在1,087兆325億円にも及ぶ安倍政権下の赤字国家日本の状況を見ても明らかです。

日本は日本国憲法の定めるところにしたがって平和の大道を進むべきです。

1934年、第一次世界大戦後のドイツを視察した日露戦争の功労者水野廣徳大佐は自らの心境を次のような歌に託しています。

「戦えば必ず勝つと己惚れて 戦を好むいくさ人あり わけを知らぬ民をおだてて戦ひの淵に追ひこむ野心家もあり わが力かえりみもせで只管(ひたすら)に 強き言葉を民はよろこぶ 戦へば必ず四面楚歌の声 3000年の歴史、あはれ亡びん 侵略の夢を追ひつつ敗独の轍踏まんとなす民あわれなり 力もて取りたるものは力もて 取らるるものと知るや知らずや」

私は軍事面については殆ど何も書きませんでした。この面でも司馬遼太郎の戦争観は大きな誤りを犯しています。精神論だけでは戦争に勝てないのです。

## <日露戦争の軍事的側面>

日本海海戦における日本海軍の圧倒的勝利の条件が：

- ① 米国によるパナマ運河の通航拒否、ドッカーバンク事件直後の英国による隠然たるスエズ運河通航妨害で余儀なくされたバルチック艦隊の3万キロに及ぶ遠洋航海、更に英・米両国による経路諸港への寄航拒否、食料・燃料などの補給拒否によるロシア海軍の疲弊と戦闘能力低下、
- ② 電信用海底ケーブルの敷設、有線電信線の架設、無線電信網の構築など英国による情報インフラ技術の援助、これに基づくバルチック艦隊の動静に関する迅速、正確な情報の提供、ロシアを質的に凌駕する最新鋭軍艦の日本への売却などによって生み出されたこと、
- ③ また日本海大海戦の戦略的勝因が東郷、秋山らの指揮した黄海海戦での失敗と彼らの居なかった蔚山（うるさん）沖海戦の成功から得た教訓にあったことなどを挙げておきます。

これについては山田朗（明治大学文学部教授）著、高文研刊、「これだけは知っておきたい日露戦争の真実」**日本陸海軍の<成功>と<失敗>**をご覧ください。ここにも司馬遼太郎の戦争記述の誤りが明確に指摘されています。

司馬遼太郎だけでなく、日本海海戦を〔日本〕の大勝利とする説はわが国では教科書によっても大量に宣伝されています。しかし、これは正しくありません。

最近、問題になっている自由社や育鵬社版歴史教科書は「ロシアは劣勢をはね返すため、本国からバルチック艦隊を派遣した。—中略—これを迎え撃った日本の連合艦隊は、東郷平八郎司令長官の指揮のもと、兵員の高い士気とたくみな戦術でバルチック艦隊を全滅させ、世界の海戦史に残る驚異的な勝利をおさめた。」としています。

しかし、ここには同盟国イギリスによる最新鋭軍艦の提供、軍事顧問団の派遣、有線、無線、海底ケーブルによる情報活動支援、イギリス・アメリカの協力によるロシア艦隊のスエズ運河通航妨害、パナマ運河の通航拒否、ロシア艦隊に対する寄港、食料・燃料補給拒否などは一切記されていません。

日本海軍が独力で勝利したかのように描かれています。しかし、実際には日本の戦艦6隻は総て当時最新鋭のイギリス製でした。有名な戦艦三笠は世界最大の軍艦メーカー、ヴィッカーズ・アームストロング社製です。装甲巡洋艦8隻のうち4隻がこれも最新鋭のイギリス製でした。これらの軍艦はロシアの軍艦の約2倍の砲撃能力を持っていました。海洋国家イギリスの支援の下、日本海軍は世界最高水準の軍艦を保有出来たのです。それだけではありません。当時の日本海軍にはイギリスから買い入れたばかりの軍艦の操船技術すら習得しきっておらず、この面でも英国海軍の支援に頼っていたのです。

横浜市磯子区の郷土史家、葛城峻さんの調査によれば、私の父・柴田権蔵が働いていた横浜市磯子区の Babcock & Wilcox Company（通称「禪馬工場」）の初代社長ブリトン氏は「敵艦見ゆ」で有名な哨戒艦[信濃丸]の雇われ機関長だったのです。日本海軍は輸入したばかりの新鋭軍艦の運転をすることが出来なかったのです。余談ですが、ブリトン氏は信濃丸への愛着たちがたく日露戦争終結後、横須賀海軍工廠に入渠中の同艦の甲板チーク材の払い下げを受け、自宅の外壁を飾りました。令嬢、Lady Dorothy Britton さんが今でも葉山の一色海岸にお住まいですが、同家の暖炉周辺やベランダも信濃丸の用材です。信濃丸の椅子 10 脚が横浜の山手 10 番館 2F にあります。是非ご覧ください。

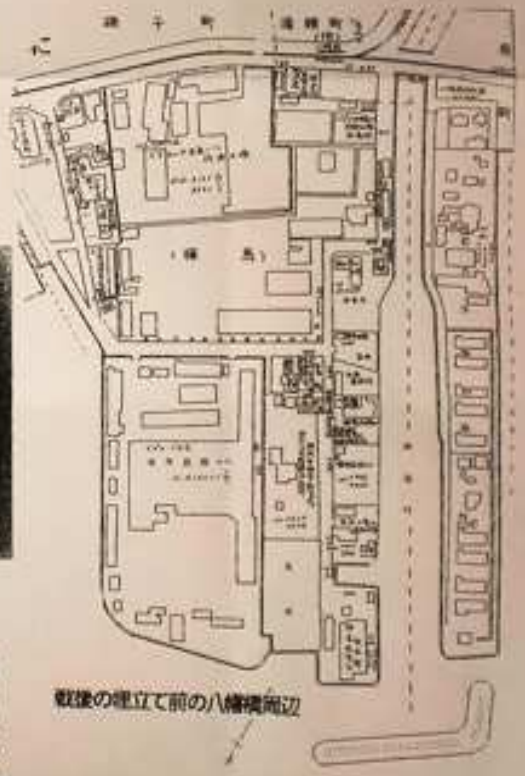
10. 東洋製罐 (東洋バブコック) ハトチカ



この外壁が信濃丸の甲板だった



(信濃丸)



戦後の建て直り前の八幡橋周辺

明治40年英籍のバブコック&ウイルクソクスが山下町に日本総支社を置いてボイラーの販売を始めたが修理工場が必要となり、ここにあった「禪馬ウイルクソクス」（その前は禪馬鉄工所）を吸収して創業した。前項藤芥焼却場のボイラーはこの製品である。

昭和27年には日立と提携し「バブコック日立」となった。現在の「ニトリ」の場所である。戦時中ここで働いた人の話では航空母艦の煙突まわりの製作も手がけたという。

昭和15年に太平洋横断飛行にチャレンジしたタコマ号はこの南側の電気局埋立地の臨時飛行場からトライしたものが（結局失敗して覆ヶ浦、青森津代海岸に移る）、アメリカから横浜に到着した機体は飛行場に隣接するこのバブコック社で組み立てを行った。（磯子のタコマ号のことは磯子区発行「浜・海道、正統」に詳しい）。



ブリトン工場長

初代工場長のブリトン氏は日露戦争のときバルチック艦隊日本海入りの発見電報「敵艦見ユ」で有名な哨戒艦信濃丸の「お馴染み機関長」であった。当時は日英同盟の関係で有名な英国人が日本軍のもとで働いていたが、外交関係に配慮したためか日露戦争の正史にこれら英人の名を見ることできない。日露の講和後ブリトン氏はバブコック&ウイルクソクスの要請によって支配人兼初代工場長となったが日本海海戦を勝利に導いた信濃丸への愛着絶ちがたく、当時横須賀海軍工廠に入渠中の同艦の甲板チーク材の払い下げを受け、「ウロコ」状に加工したもので支配人宅の外壁を飾った。現在の横浜銀行磯子支店の駐車場のあたりにあったが、ブリトン氏はその後東洋バブコックの厚生施設となったが特異な外壁を持った洋館として地元では有名であった。ちなみに令嬢 Lady Dorothy Britton が葉山一色海岸で健在だが、同家の暖炉周辺やベランダも信濃丸で使用した用材である。信濃丸のチェアは山手十番館が約10脚所有し展覧しているが、日露戦争ゆかりのものがこの近辺にあるのも奇遇である。

バブコック社は明治期における日本の近代工業の先駆的存在であり地場産業の顔としてその業績の再評価が望まれる。同社製品のひとつが赤羽砲兵工廠で旧軍武器製造に使われたのち旧海軍工廠に隣接する同社工場構内に赤錆びて眠っているが、当地に産業考古博物館ができれば第一番に収蔵すべきモニュメントである。

葛城峻

## <観戦武官>

日露双方に多数の観戦武官が派遣され日本にはイギリス、アメリカ合衆国、ドイツ帝国、オーストリア・ハンガリー帝国、スペイン、イタリア、スイス、スウェーデン＝ノルウェー連合、ブラジル、チリ、アルゼンチン、オスマン帝国の13ヶ国から70人以上の武官が派遣されていました。日英同盟を結んだイギリスからの派遣が最多の33人となっています。観戦武官が持ち帰った日露戦争の戦訓は、第一次世界大戦の各国で活かされることになりました。

イギリス、アメリカなどの観戦武官は軍事顧問としての役割も果たしました。イギリスからは後に日本陸軍武官となったエイルマー・ハルデイン、アメリカからは歴史の皮肉というべきか、アーサー・マッカーサー・ジュニア、副官として後に太平洋戦争で日本を占領した連合軍最高司令官、息子のダグラス・マッカーサーが参加しました。（当時、横浜のNew Grand Hotelに滞在）

## <潤沢な資金によるロシア内乱・革命勢力への支援>

日本のスパイ明石元二郎大佐は日露戦争中に、当時の国家予算が2億3,000万円程であった中、山縣有朋の英断により参謀本部から100万円（現在の価値では約1,300億円）を工作資金として支給され後方攪乱の為、ロシア革命支援工作を画策しました。ドイツ皇帝ウィルヘルム二世は、「日本の明石元二郎は、たった一人で日本の満州軍二十万人に匹敵する成果を挙げた。実に恐ろしい男だ」と感嘆したと伝えられています。「機密日露戦史」（谷寿夫中将作成）には、「戦勝の一原因もまた明石大佐ならざるか」と書かれています。明石氏は革命前のレーニンと親交があり、かねがねレーニンを高く評価し、マスコミがレーニンを「冷忍」（残酷・冷忍）などと表記していた中で彼は「礼仁」と記していました。彼はまた「レーニンは目的のためなら手段を選ばぬ人間だと思われるが、それは間違いで、彼は珍しく至誠純忠の精神を身につけた人物だ。将来、ロシアに革命が達成できるとすれば、それはレーニンを除いて他にいない」と述べている（倉敷芸術大学客員教授・河上文久「日本近代史」）。

日露戦争に関する誤った「勝利」の情報とこれに基づく国民教育は「日本軍必勝」の神話を生み出し、太平洋戦争海戦時に昭和天皇に大本営参謀部が「日露戦争で国力10倍のロシアに勝利できたのだから、20倍のアメリカにも勝利できる」と進言する原因を作ったのです。

## 日露戦争の総括

日露戦争は、日本がそれまで体験してきたどの戦争と比べても、その規模と性質は大きく異なっていました。戦闘に参加した日本の軍人と軍属の総数は、戦地と後方勤務の双方をあわせて108万人を超えていました。このうち戦死者・戦傷者は、それぞれ約8万4千人、14万3千人となっていました。日清戦争時の戦死者と比較すると、およそ10倍の死者が出たこととなります。

安倍内閣が文部省、教育委員会を使って上から国民に押し付けている自由社版「新編・新しい歴史教科書」は日露戦争の総括として：

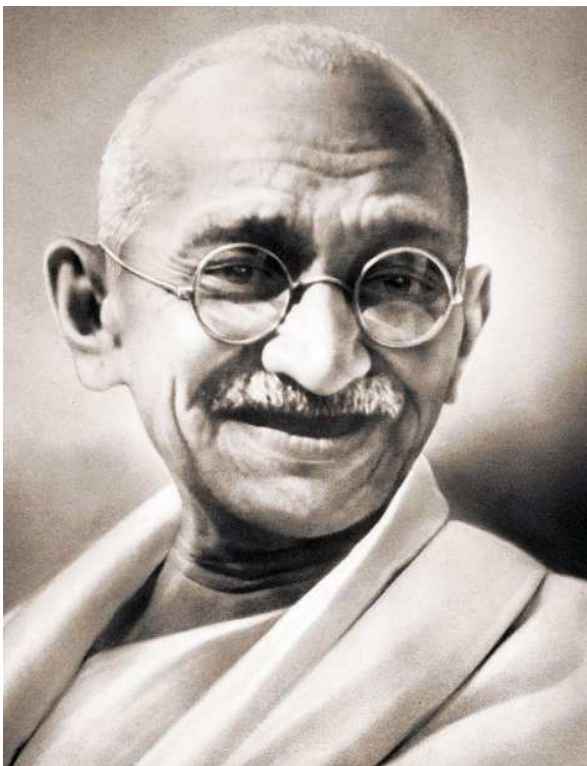
「日露戦争は、日本の生き残りをかけた戦争だった。

- ① 日本はこれに勝利して、自国の安全保障を確立した。
- ② 近代国家として生まれてまもない有色人種の国日本が、当時、世界最大の陸軍大国だった白人帝国ロシアに勝ったことは、植民地にされていた民族に、独立への希望をあたえた。
- ③ しかし、他方で、黄色人種が将来、白色人種をおびやかすことを警戒する黄禍論が欧米に広がるきっかけにもなった。」

としています。

- ① 「生き残りをかけた戦争」では無く「植民地争奪の為の戦争」であったことは既述の通りです。当時、日本の最も緊密な同盟者であった英国の百科事典・ブリタニカでさえ、「日露戦争(1904/2/8~1905/9/5)は 20世紀最初の大戦であった。それは満州と韓国をめぐるロシア帝国と日本帝国の野望から生じた。」としています。(自国のことについては触れていない)
- ② については、ブリタニカは「ロシアとの競争がなくなったので、また第一次世界大戦でのヨーロッパ諸国民の混乱、それに続く大恐慌に乗じて、日本軍は中国及びその他のアジアに君臨し始めた。そしてそれは結局第二次中日戦争(いわゆる「シナ事変」)と第二次世界大戦の太平洋戦争の戦場に導いたのである。」と結論付けています。

日本は安全保障を確立するどころか破滅への道へ入り込んだのです。



③については、例えばインドの偉大な指導者M. ガンジー(左写真)は 1905 年には確かに「あなたがたがロシアの武力に対して輝かしい勝利をおさめたことを知って、感動に身ふるいしました。」と賞賛しました。しかし、1942 年には「あなた方は、崇高な高みから帝国主義的な野望にまで墮してしまわれたのです。あなた方はその野心の実現に失敗し、ただアジア解体の張本人になり果てるかもしれませぬ。かくして、知らず知らずのうちに、あなた方は世界連邦と兄弟愛——それらなくしては、人類に希望はありえないのですが——を妨げることになるでしょう。」と失望、落胆していたのです。

## <日露戦争前後の国際関係>

日露戦争は1904年2月8日、日本がロシアの租借地だった遼東半島の旅順を奇襲攻撃して起きました。両国の若者数十万人を戦病死、負傷させながら翌年9月5日まで続いた戦争を通じて日本は日章旗を翻しながらアジア初の唯一の帝国主義国家として国際舞台に登場しました。

後発の帝国主義国ロシアは清、大韓帝国で利権を確保し、先進帝国主義国英国とフランスに追いつこうとしていました。しかし、これを容認できなかったイギリスはこの地域から新興国に浮上した日本と同盟を結び、ロシア牽制の役割を担わせたのです。米国も日本を後援しました。そうして起きたのが日露戦争です。まさに第ゼロ次世界大戦です。

戦争の結果、日本は英国と米国から大韓帝国に対する独占的権利を認められて満州にも本格的に進出できるようになりました。一方、ロシアは東アジアから外され、バルカン半島に目を向けましたが、そこでも、後発のドイツに押され、ドイツの敵である英国と手を握らざるをえなかったのです。

そして、ドイツが英国に挑戦して起こしたのが第1次世界大戦で、以上の経過から日本とロシアは共に、英国側に立ったのです。

上述のように日露戦争は謂わば英国の代理戦争でした。では、

**何故、日本は英国の代理でロシアと戦ったのでしょうか？**

その遠因は幕末の開港に遡ります。アジアで植民地の争奪戦を展開していた欧米諸国は日本に市場開放を迫りました。

市場開放の結果、欧米諸国は労せずして莫大な利益を得ました。

当時の日本と欧米諸国とでは金と銀との交換比率が大きく異なっていた為、お金を両替するだけで膨大な利益が転がり込んできたのです。(次ページ参照)

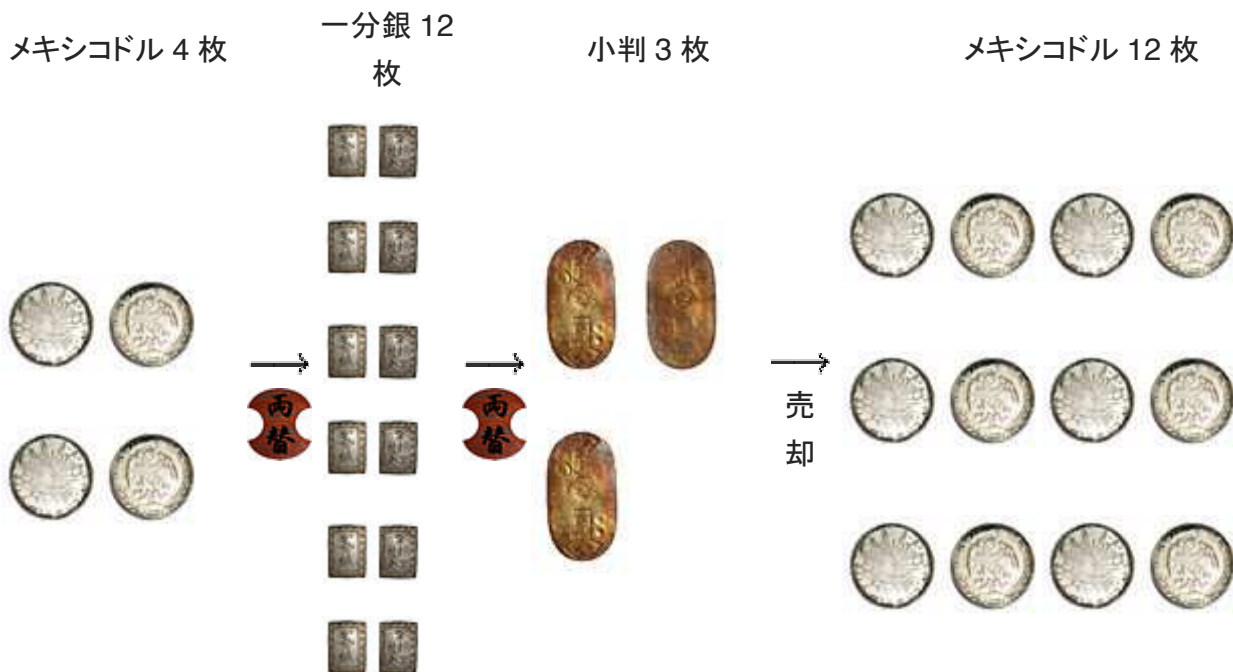
1859年(安政6年)、「ジャーディン・マセソン商会」の上海支店にいたイギリス人ウィリアム・ケズィック(ウィリアム・ジャーディンの姉の子)が横浜(旧山下町居留地1番館、現山下町一番地で)に「ジャーディン・マセソン商会」横浜支店を設立、日本に進出した外資第1号となりました。彼らはこの両替で巨利を博しました。

後に吉田茂の養父・吉田健三が同社横浜支店長を勤めていました。私の従兄柴田政信も此処で働いていました。鹿島組によって建設された横浜初の外国商館である社屋は「英一番館」と呼ばれました。跡地には現在シルクセンター国際貿易観光会館が建っています。私の嘗ての職場「横浜貿易協同組合」も此処にありました。

1863年(文久3年)、ウィリアム・ケズウィックは井上聞多、遠藤謹助、山尾庸三、野村弥吉、伊藤博文の長州藩士五名のイギリス留学を支援しました。彼らの英国滞在は、ジェームス・マセソンの甥にあたるヒュー・マセソン(ジャーディン・マセソン/Jardine Matheson 商会・ロンドン社長)が世話しました。

一方、長崎でも、1859年9月19日(安政6年8月23日)に幕末・明治期の重要人物であるトーマス・ブレイク・グラバーが「ジャーディン・マセソン商会」長崎代理店として「グラバー商会」を設立。現在社屋はグラバー園として公開されています。グラバーは、五代友厚(薩摩藩士、NHKテレビドラマ「朝が来た」に登場)、坂本龍馬(海援隊)、岩崎弥太郎(三菱財閥)等を支援しました。彼はその他、神戸・大阪・函館にも代理店を置きました。

幕末・明治初期、外国商社の両替による膨大な利益獲得の仕組み



このジャーディン・マセソン商会は世界最大の英国財閥ロスチャイルド傘下の商社でした。

明治維新の立役者、坂本龍馬はグラバーの援助で商社「亀山社中」を設立、グラバー商会から当時世界最大の兵器メーカー、ヴィッカーズ・アームストロング社製のミニエー銃(当時最新式のもの)4,300丁、ゲベール銃3,000丁を92,400両で買い付けました。龍馬はそれを薩摩に売り、薩摩は銃の不足に悩んでいた長州へ転売、逆にコメ不足に悩んでいた薩摩は米を長州から買い付けました。薩長連合はこうして成立したのです。(日本銀行高知支店調べ)

それでは、なぜジャーディン・マセソン商会は龍馬に武器を供給したのでしょうか？

幕末に海外流出した金の量は最低一万両から最大二千万両まで諸説幅がありますが、兎に角、社会を揺るがすほどの影響があったのですから、大量の流出があった事は間違いありません。ジャーディン・マセソン商会はそのかなりの部分を手に入れたのです。

こうした状況を見て、世界中から商人が殺到、それどころか来航した軍人たちも挙ってこの投機に有り金を投じ、退職して会社を設立するものや、職務そっちのけで銀と金の交換に夢中になるものが続出しました。さらに英米列強の商人だけでなく無国籍の投機資本も次々と参入するに至り、初代米国駐日総領事ハリスも初代英国駐日総領事オールコックも流石にこの日本の金流出という異常事態は自国の国益を阻害すると判断、手のひらを返して通用価値の割り増し(直増通用)を日本側に申し入れました。下田で日米和親条約を結び不当な交換レートを日本に押し付けたハリス自身も小判を買い漁り、それを上海などで売却して利鞘を稼いでいました。そのハリス曰く『金貨幣は其真価の三分一にて通用せり。此事は日本の為に甚害あることにして』一刻も早く国際価格に合わせましよう。(「円の誕生 近代貨幣制度の成立」《講談社学術文庫》三上 隆三 P196)

各国と幕府の折衝によって、安政七年(1860年)二月一日をもって天保小判一枚を三両一分二朱、天保一分判金を三分二朱、安政小判一枚を二両二分三朱、安政一分判金を二分三朱にそれぞれ置き換えて適用することとされ、実勢基準に準じた価値設定となり、金流出は終息しました。

同時に逼迫する赤字財政を補てんするため幕府は万延二分金を発行、幕府歳入の約半分を占める改鑄益を得ました。

しかし、これで多大な迷惑を蒙ることになるのが、日本国内の人々と幕府でした。要するに**金貨の四分の一の価値であった銀貨が一夜にして十二分の一以下の価値に落ち込んだからです**。さらに万延二分金の発行による貨幣流通量の増大も貨幣価値の下落を促進しました。貨幣価値の下落はすなわち物価上昇を齎します。それまでも各種要因からインフレ基調であった国内の物価は一気にハイパーインフレーションへと突き進んで行ったのです。

大坂米価は安政五年(1858)から慶応二年(1866)までの間で約十一倍に跳ね上がり、実質賃金は京都の建築労働者の場合、1801~1804を**100**とすると、1850~59が65.7、ハイパーインフレ後の1861~1868はわずか**47.9**でしかありませんでした。(「文明としての江戸システム」日本の歴史 19《講談社学術文庫》鬼頭宏 P237~249)

ハイパーインフレは賃金労働者を雇用する大規模経営者に恩恵をもたらし、経済成長をもたらしましたが、一方で賃金労働を行う下層武士、都市下層民や下層農民の生活を著しく困窮させ、**経済格差は拡大、社会を一気に不安定化させました**。やがて、困窮する生活の不満を爆発させた人々によって一揆や打ちこわしが頻発、社会の混迷は加速度的に増してゆきました。

1853	嘉永 6	南部三閉伊一揆	90 村参加	藩政改革・仙台領への移住要求。
1855	安政 2	豊前時枝騒動	数千人参加	苛政に反対。
1856	安政 3	備前洪染一揆	八千人参加	部落差別反対。

1858	安政 5	三河新城一揆	19 村参加	減免・代官罷免要求
1859	安政 6	信濃南山騒動	1600 人参加	延納要求。
1860	万延 1	丹波市川騒動	一万八千人参加	苛政反対。
1863	文久 3	羽前屋代一揆	35 村参加	米沢藩への知行替反対。
1864	元治 1	大隅犬田布一揆		砂糖総買い入れ反対。
1865	慶応 1	山城木津一揆		免割への不満から藩役人と対立。
1866	慶応 2	武蔵武州一揆	数万人参加	米価引下げ、質物返還の世直し要求。
		陸奥信達騒動	180 村参加	生糸税反対、米安要求。
1867	慶応 3	日向竹槍騒動	1000 人参加	庄屋の非政追及。

日に日に上がっていく物価と反比例するように、幕府の権威と信用はガラガラと音を立てて崩れ落ちていったのです。

開港で膨大な利益を上げたジャーディン・マセソン商会を始めとする英・米資本にとって、関所などによって自由な商品流通の出来ない幕藩体制は彼らの「自由な」利潤追求にとって最大の障碍でした。彼等は下層武士、都市下層民や下層農民の不满を利用し倒幕=社会体制の変革を狙ったのです。

今日、ロックフェラー財閥が君臨する米国によるウクライナやアラブでの反政府革命によく似ています。

これに対し米・英との利害が対立するフランスなどが幕府を支援しました。

フランスは徳川幕府に洋式軍隊建設を働きかけ、武器販売をしようとしていたのに対し、グラバー、ジャーディン・マセソンなどイギリス勢は、薩長をはじめとする維新軍をけしかけ、武器を売りつけようとしていたのが、幕末の日本の状況です。

この頃、映画「風とともに去りぬ」の舞台ともなった、アメリカの南北戦争(1861-1865)が終結し、大量の銃や弾薬などの兵器が在庫となり、兵器を製造していた会社は極度の経営難に陥り、余った兵器は上海の市場に持ち込まれていました。

特に幕末に日本に持ち込まれたミニエー銃、エンフィールド銃、スペンサー銃、などの小銃は、アメリカの南北戦争で広範囲に使用された小銃で、戦争終結と共に大量に上海市場に出回り、それが日本にも持ち込まれるようになったのです。原価の安い中古品でした。

また、強力なアームストロング砲で有名な、イギリスのアームストロング社は、クリミア戦争の終結とともに経営難に陥り、1863年にイギリス政府のバックアップの下で、事業の建て直しを図り、アジア地域、特に日本市場向けの兵器製造に転換したばかりの状況でした。

ジャーディン・マセソン商会でロンドンに駐在していたアームストロングの親友スチュアート・レンドル (Stuart Rendel) の関係資料の中に、グラバー商会からの注文に関するものが残されていますが、当時のアームストロング社の売り上げの中で最も大きいものでありました。

\*Stuart Rendel: <https://www.nationaltrust.org.uk/hatchlands-park/features/the-rendel-family-at-hatchlands-park>  
 Stuart Rendel was born in 1834, son of a distinguished engineer. He was educated at Eton and Oxford, qualified as a barrister in 1861 going on to become a managing partner of engineering firm Armstrong Whitworth & Co.

ちなみに 1865 年 4 月にグラバー商会から入った注文は、70 ポンド先込砲 15 門、12 ポンド後装砲 10 門、8 ポンド後装砲 5 門、6 ポンド後装砲 5 門、合計 35 門の大砲および砲弾 700 トン、金額にして総額 18 万 3847 ドルに及ぶものでありました。この時の注文は、幕府の長崎奉行からのもので、まだグラバー商会としては、幕府向け・維新軍向けともに注文に応じていた時期のことです。ちなみに

に、アームストロング社はロスチャイルド系の会社です。

この頃、世界で群を抜いていた 2 社の兵器メーカーは、イギリスのアームストロング社と、フランスのシュネーデル社で、いずれも戦争男爵のロスチャイルド系の企業で、アームストロング社が敵国フランスに武器を売り、シュネーデル社が敵国イギリスに武器を売るという事が平然となされている時代でした。(第二次世界大戦でも Henry

Ford は連合軍にも枢軸軍にも軍用車両を売りナチスからは勲章をもらっています。)

明治政府はこの様な背景を以って創り出されたのです。これが前回述べたような英国の反ロシア扇動によって日本が日露戦争にのめり込んだ基本的要因なのです。

英国はこの戦争によって国債の利子、武器の販売益を得、一人の戦死者も出さずに膨大な利益を上げることが出来たのです。

一方、米国との関係はどうだったのでしょうか？アメリカが日露講和の仲介をした理由は何だったのでしょうか？

**歴史は一つではない**



外国勢力



明治維新



外国製武器

倒幕側



伊藤博文 西郷隆盛 板本竜馬

幕府側



徳川慶喜 榎本武明 勝海舟

ポーツマス条約で日本がロシアから譲渡されたのは東清鉄道の「旅順～長春（南満州支線）」でしたが、徐々に拡張され、のちに南満州鉄道＞満州鉄道＞満鉄とよばれるようになりました。（右図）

さらに、鉄道を管理運営する「南満州鉄道株式会社」も創設されました。この会社は半官半民の国策会社で、鉄道、鉱山、製鉄、電力、ホテルとあらゆる事業を包含する巨大コンглоマリットに成長します。

そして、これが冒頭の「アメリカが日露講和の仲介をした理由」に深く関わっています。



アメリカの要求は「満鉄の利権をよこせ！」でした。これを画策したのは、鉄道王エドワード・ヘンリー・ハリマンでした。

日露戦争中に彼はジェイコブ・シフと共に日本の戦時公債を1人で1,000万円分も引き受けました。その彼には壮大な構想があったのです。「アメリカ → 満州 → ロシア → ヨーロッパ → アメリカ」の「世界一周鉄道」です。（太平洋と大西洋は連絡船）。もし、南満州鉄道の利権を獲得できれば、上の構想の「満州」部分は実現できます。

1905年9月5日、ポーツマス条約が締結されて1ヶ月も経たないうちに、ハリマンは来日し、1億円の「資金援助」の手土産を持って、南満州鉄道の共同経営を提案しました。日本政府にしてみれば、鉄道技術と経営のノウハウを持つハリマンの申し出は渡りに船でした。しかも、資金まで提供してくれるというのです。僅か1ヶ月後には、桂・ハリマン協定が締結されました（桂は当時の首相）。

ところが、ポーツマスから帰国した外相小村寿太郎は激怒しました。「9万人の戦死者と、19億円の戦費で勝ち取った『満鉄の利権』を、アメリカと分け合うとは、一体何を考えているのだ」と。こうして、桂・ハリマン協定は廃棄されたのです。

アメリカ側も激怒しました。とくに、日露講和会議を仲介したセオドア・ルーズベルト



大統領は面目丸つぶれでした。日本の外債を買ったうえ、講和の面倒までみてやったのに・・・。セオドア・ルーズベルトは日露戦争後次第に極東で台頭する日本に対して警戒心を感じるようになり、やがて鼻根も薄れ、事務的かつ冷淡な場面も見られるようになりました。日露戦争後には白船艦隊（グレート・ホワイト・フリー

ト) を日本に寄港させ強大化しつつある日本を牽制しました。いわゆる排日移民法の端緒も彼の時代です。

1893年、アメリカのハワイ王朝乗っ取りの際、日本の巡洋艦「浪速」と「金剛」がホノルルに入り、アメリカの横暴を牽制したので、アメリカはハワイ併合を断念し、ハワイ共和国としました。また翌年、同共和国の一周年を祝う礼砲要請を艦長の東郷平八郎は断り、他国の艦船もそれに倣いました。

1897年3月、ルーズベルトは「出来ることなら今すぐにハワイを併合し、ニカラグア運河（パナマ運河）を完成させ、日本を凌ぐ軍艦を建造したい。私は日本の脅威をひしひしと感じている」と友人に書き送りました。海軍の軍拡競争が始まったのです。

その後、満州を諦めたアメリカは、「機会均等」を掲げて、中国進出を目論みましたが、これも失敗しました。先に、清国に進出していた日本、イギリス、ロシアが連携して、アメリカを締め出したのです。こうしてセオドア・ルーズベルト大統領はすっかり「反日」になり、その後、反日感情は次第に高まり、フランクリン・ルーズベルトに受け継がれ、頂点に達し、日本は太平洋戦争に巻き込まれるのです。

太平洋戦争は膨大な犠牲者、物質的損害を産み出しました。

国名	死者数		
中国	1000万人～2000万人	日本本土	103,900人
朝鮮	約20万人	小笠原諸島	15,200人
台湾	約3万人	沖縄	89,400人
フィリピン	約111.2万人	中部太平洋	247,200人
ベトナム	約200万人	仏領インドシナ	12,400人
ビルマ	約15万人	タイ	7,000人
マレーシア	10万人以上	マレー・シンガポール	11,400人
シンガポール		ビルマ・インド	164,500人
インドネシア	約400万人	ボルネオ・スマトラ・ジャワ・セレベス	33,200人
インド	約150万人	モルッカ・小スンダ・西ニューギニア	57,400人
オーストラリア	約2.4万人	フィリピン	498,600人
ニュージーランド	約1.2万人	東ニューギニア	127,600人
連合軍捕虜など	約6.5万人	ビスマルク諸島	30,500人
日本	310万人以上	ソロモン諸島	88,200人
合計	2229.3万人～3229.3万人	朝鮮	26,500人
		満州	46,700人
		中国本土	455,700人
		台湾	39,100人
		樺太・千島	14,800人
		ソ連	52,700人
		合計	2,121,000人

■左表はアジア・太平洋戦争での各国の死者数である。出典は、吉岡吉典著『日本の侵略と膨張』（新日本出版社）、ハ

この教訓から、我が国は武力や武力による威嚇で国際問題を解決する事をやめたのです。「日米安保のいま」と題して発表された、NHKが2010年11月に行った世論調査の結果を見ますと、「日米安保は役立っているか」という問いに対しては、「役立っている」が31%、「どちらかといえば役立っている」が40%で、あわせると72%と多数になっています。

ところが、「これからの安全保障体制」をどうするかという問いに対しては、「日米同盟を基軸に、日本の安全を守る」と答えたのはわずか19%です。それに対して、「アジアの多くの国々との関係を軸に、国際的な安全保障体制を築いていく」が55%、「いっさいの防衛力を持たないで、中立を保ち、外交によって安全を築いていく」が12%と、アジア諸国との外交によって安全保障をはかるべきだという立場が、合計で67%となっています。

さらに、「中国の動きへの対応」をどうするかという問いに対しては、「アメリカの軍事的抑止力によって、対処していく」と答えたのはわずか12%です。それに対して、「アジアにおいて他の国々とともに、対処していく」が57%、「日中二国間の関係を深めることで、対処していく」が23%と、中国とも外交による対応で友好関係を築いていこうという立場が、合計で80%に達しています。

こうした世論にも拘らず世界各地で戦争が無くならないのはなぜでしょう？

**近・現代の戦争は英・米の死の商人の、死の商人による、死の商人の為の営利事業なのです。彼等は最大限の利益を追求して次から次へと戦争を引き起こしてゆくのです。**

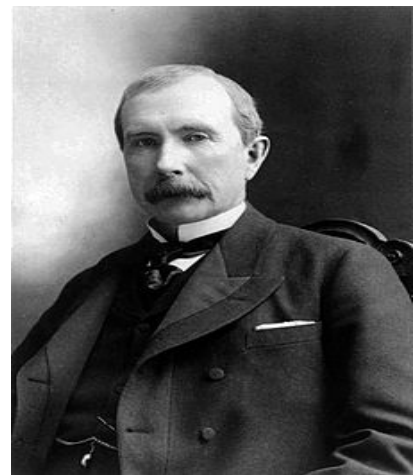
現代資本主義は生産の集積・集中、独占資本・金融寡頭制の発展の結果、世界は2つの巨大金融資本に集約されています。それはロスチャイルドとロックフェラーです。

## 現代本主義世界を支配する二大財閥

### ロックフェラー家

J. D. ロックフェラー➡

世界最大の石油トラストとして君臨したスタンダード・オイル創始者のジョン・D・ロックフェラーと弟でナショナル・シティ銀行ニューヨーク（現在のシティグループ）創業者の一人であるウィリアム・ロックフェラーによって発展した一族。世界的な財閥で、石油業や軍事産業、金融業など様々な企業を傘下に収める。その中の代表的企業には、ジョンの孫のデイヴィッド・ロックフェラーが頭取を務めたチェース・マンハッタン銀行（現在のJPモルガン・チェース）がある。モルガン財閥、メロン財閥と並ぶ米国三大財閥の一角。英国の世界的な財閥であるロス



チャイルド家としばしば比較され、2012年5月30日のRITキャピタルパートナーズでの歴史的な資本提携は話題を呼んだ。

更には、ジェラルド・R・フォード大統領の下、副大統領に就任したネルソン・ロックフェラーやアーカンソー州知事を務めたウインスロップ・ロックフェラー、現職のアメリカ上院議員のジェイ・ロックフェラーの3名の政治家も輩出した。

また、ジョン・D・ロックフェラー2世が自らの資金で建設したロックフェラー・センターや初代が慈善事業の一環で始めたロックフェラー財団やロックフェラー大学など、その名を冠した建造物や組織もある。

#### <人物>

ジョン・ロックフェラー - アメリカ合衆国の石油王。

ジョン・ロックフェラー2世 - アメリカ合衆国の慈善家。ジョン・ロックフェラーの息子。

ウィリアム・ロックフェラー - ナショナル・シティ銀行ニューヨーク（現在のシティグループ）創業者の一人

ジェームズ・ロックフェラー - ウィリアムの孫。パリオリンピック（1924年）のボート（エイト）で金メダルを獲得。後にナショナル・シティ銀行ニューヨーク（シティグループ）の社長となる。2004年に102歳の長寿を全うした。

ネルソン・ロックフェラー - 第41代アメリカ合衆国副大統領。ジョン・ロックフェラー2世の息子。

ジョン・ロックフェラー4世 - アメリカ合衆国上院議員。ネルソン・ロックフェラーの甥。

デイヴィッド・ロックフェラー - アメリカ合衆国の銀行家、慈善家。ジョン・ロックフェラー2世の息子でネルソン・ロックフェラーの実弟。ロックフェラー家の現在の当主。

マイケル・ロックフェラー - ネルソン・ロックフェラーの息子で民族学者。1961年にニューギニア西部で行方不明になり、首狩り族に殺されたと一部では信じられている。

#### <ロックフェラー家の名を冠する事物>

ロックフェラー財団 - ジョン・ロックフェラーの遺志から結成された。

ロックフェラー・センター - ニューヨークの商業ビル複合体の名称。ジョン・ロックフェラー2世に因んで命名された。

ロックフェラー医学研究センター（後のロックフェラー大学）

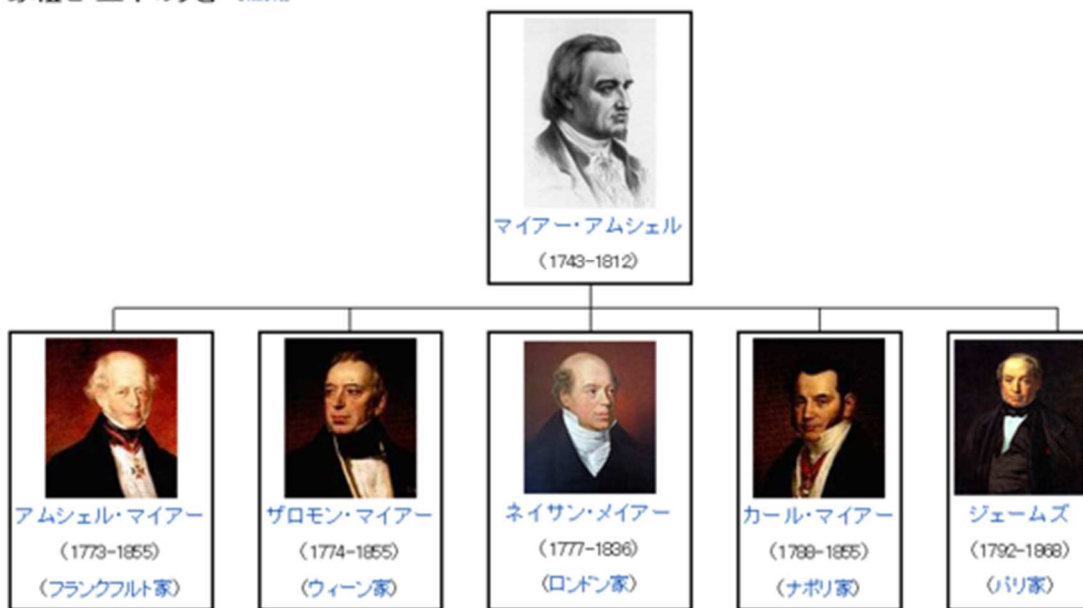
#### <ロスチャイルド家>

紋章➡



## ロスチャイルド家系図 [編集]

### 家祖と「五本の矢」 [編集]



ロスチャイルド家 (Rothschild、「ロスチャイルド」は英語読み。ドイツ語読みは「ロートシルト」。フランス語読みは「ロチルド」[2]) は、ヨーロッパの財閥、貴族。門閥として名高い。ロマノフ家とは Hubert de Monbrison (15 August 1892 - 14 April 1981) の三度にわたる結婚を介して家族関係にある[3]。また、ベアリング家ともギネス家を介してやはり家族関係である[4]。モルガン家やゴールドシュミット・ファミリーとも親密であり、広範なビジネスコネクションをもつ。

### <世界における貧富の格差>

オックスファム (世界 90 カ国以上で貧困を克服しようとする人々を支援し、貧困を生み出す状況を変えるために活動する国際協力団体) は 2016/01/18 スイスで開かれる世界経済フォーラム年次総会 (ダボス会議) に向け、米経済誌フォーブスの長者番付やスイスの金融大手クレディ・スイスの資産動向データに基づく 2015 年版の年次報告書を発表した。

それによると、「上位 62 人と下位半数に当たる 36 億人の資産は、どちらも計 1 兆 7,600 億ドル (約 206 兆円) だった。

富裕層の資産は近年、急激に膨れ上がっており、上位グループの資産はこの 5 年間で計約 5,000 億ドル増えた。一方、下位半数の資産は計 1 兆ドル減少した。10 年の時点では、上位 388 人の資産の合計が下位半数の合計に等しいという結果が出ていた。

また、上位 1% の富裕層が握る資産額は、残り 99% の資産額を上回る水準にあるという。

オックスファム・アメリカのガウェイン・クリプキ氏は、世界の富が「ピラミッドの頂点に位置するごく一部へ急速に集中しつつある」と指摘する。

富裕層と貧困層の所得格差も拡大を続けている。1 日あたりの生活費が 1.90 ドル未満という極貧ライン以下の生活を送る下位 20% の所得は 1988 年から 2011 年までほとんど動きがなかった

のに対し、上位 10%の所得は 46%も増加した。

一方で富裕層の税金逃れは総額 7兆 6,000 億ドルに上っていると推定される。オックスファムは格差縮小に向け、世界の指導者にこうした問題への対策を改めて呼び掛けた。」とのこと。

米国では 1%の為の政治を 99%の政治に変えようという運動が広汎に起こっています。米大統領選の民主党候補者指名争いで同党のワイオミング州党员集会在 4月9日にあり、サンダース上院議員が勝利を確実にしました。直近の予備選・党员集会在実施された 8州のうち、7州で首位のクリントン前国务長官に連勝した事はその象徴的な表れです。

原水爆、大陸間弾道弾、化学兵器などの存在する現在、国際紛争を武力行使や軍拡競争によって解決しようとするのは人類破滅への道です。朝鮮戦争、ベトナム戦争、アフガン戦争、イラク戦争、シリア戦争、第二次世界大戦後のすべての戦争は国際紛争が武力によっては解決できないことを明確に示しています。

私達は「坂の上の暗雲」でなく、平和な大宇宙、明るい太陽を求めて生きてゆかねばなりません。

そのためには日本の独立を奪い、米国の対外侵略の基地としている「日米安保条約」の廃棄が決定的に重要であること、国際法である「日米安保条約」は日本国憲法より法律的に上位にあり、これが日本国憲法を実質的に阻害していることを付言しておきたいと思います。

・・・(終わり)・・・

広島と日露戦争>宿題です：

(1) 名産品「宮島杓子」はどのようにして全国に広まったのでしょうか？

▶ (2) 下の写真は日露戦争時に広島に作られたバルチック艦隊(海から)の攻撃や進入に備えた砲台跡です。これらの砲台、砲座などを造るのにどのくらいのお金と労力を使ったのでしょうか？ お金を出したのは誰で、働いたのは誰でしょう？ 実際に調べてみましょう。ご先祖の方々が如何に苦勞されたか良く解ると思います。



▶三高山砲台跡

【住所】江田島市沖美町是長

【地図】

【標高】401.8m

【保存状態】☆☆☆

【目的】広島港の要塞

【他の写真】

[砲座](#) [砲座](#) [砲座](#) [兵舎](#) [砲側庫](#) [砲側庫](#)

▶鶴原砲台跡

【住所】江田島市沖美町美能

【地図】<

【標高】

【保存状態】☆

【目的】広島港の要塞

【他の写真】

[砲座](#) [砲側庫](#) [砲側庫](#) [砲側庫](#) [階段](#) [井戸](#)

▶早瀬第一砲台跡

【住所】呉市音戸町渡子

【地図】

【標高】

【保存状態】☆☆

【目的】呉港の要塞

【他の写真】

[門柱](#) [基礎](#) [基礎](#) [砲側庫](#) [兵舎](#) [兵舎](#) [兵舎](#)

[火の用心の看板](#)より50m手前の右側の山一帯が第一砲台跡です。1分山を登ればすぐ見わかります。

▶室浜砲台跡

【住所】廿日市市宮島町

【地図】

【標高】

【保存状態】☆☆☆

【目的】広島港の要塞

【他の写真】

[砲座](#) [砲座](#)



▶高鳥砲台跡

【住所】呉市警固屋町

【地図】

▶大君砲台跡

【住所】江田島市大柿

▶北部砲台跡

【住所】竹原市忠海町

【地図】

町大君  
 【地図】  
 【標高】  
 【保存状態】☆☆☆  
 【目的】呉港の要塞  
 【他の写真】

[砲座](#) [電灯所](#) [煙突](#) [階段](#)  
[階段下の建物中のレンガ](#)



▶ [がんね鼻砲台跡](#)  
 【住所】江田島市沖美町美能  
 【地図】  
 【標高】  
 【保存状態】☆☆☆  
 【目的】広島港の要塞  
 【他の写真】

[司令室](#) [砲側庫](#) [砲側庫](#) [砲座](#)



【標高】  
 【保存状態】☆☆☆  
 【目的】呉港の要塞  
 【他の写真】  
[砲座](#) [兵舎](#)



▶ [砲台山砲台跡](#)  
 【住所】呉市阿賀町  
 【地図】  
 【標高】  
 【保存状態】☆☆☆  
 【目的】呉港の要塞  
 【他の写真】

[火薬庫](#) [砲座](#) [指令所](#) [観測所](#) [指令所](#) [井戸](#)  
[ほかの跡](#)  
 【その他】[動画](#)



▶ [中部砲台跡](#)  
 【住所】竹原市忠海町



▶ [早瀬第二砲台跡](#)  
 【住所】呉市音戸町音戸

【地図】  
 【標高】  
 【保存状態】☆☆  
 【目的】呉港の要塞  
 【他の写真】

[不明](#) [砲側庫](#) [砲座?](#) [壁](#) [砲側庫](#)

早瀬第一砲台の500mくらい奥にあります。



▶ [鷹ノ巣浦砲台跡](#)  
 【住所】廿日市市宮島町

【地図】  
 【標高】  
 【保存状態】☆  
 【目的】広島港の要塞

【標高】  
 【保存状態】☆☆☆  
 【目的】広島港・呉港の要塞  
 【他の写真】

[砲座と砲側庫](#) [砲座](#) [砲座](#) [砲側庫](#) [砲側庫](#) [屋根](#)



▶ [休石砲台跡](#)  
 【住所】呉市警固屋町  
 【地図】  
 【標高】

【保存状態】☆☆  
 【目的】呉港の要塞  
 【他の写真】  
[砲座](#) [砲座](#) [砲座](#) [部屋](#) [砲座からの海の景色](#)



